

2014.4.14

パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会

## Team APEV with モンスタースポーツ 2014 パイクスピーク・ヒルクライムに挑戦

地球環境の保全と持続可能な社会の実現のため、電気自動車の普及促進を目指す電気自動車普及協議会(APEV、会長:福武 総一郎)は、「パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会」を組織し2014年6月23～29日、アメリカ・コロラド州で開催されるパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムに「Team APEV with モンスタースポーツ」として3年目の挑戦を行います。

1916年から開始され、まもなく100周年を迎えるパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムは、非常に大きな盛り上がりを見せており、昨年は電気自動車クラスにも多くの強豪が参加してきました。その中で、「Team APEV with モンスタースポーツ」が優勝を果たしたことは大きな喜びであり、同時に、ライバル達との切磋琢磨が電気自動車の技術発展と普及促進に大きな貢献を果たしたと言えるでしょう。

今年のレース車両「2014 Monster Sport E-RUNNER パイクスピーク スペシャル」は、昨年の優勝車両をベースに改良を加え、さらなる性能向上を実現しました。ドライバーも引き続き、パイクスピーク・レジェンドである田嶋伸博が務める、最強の布陣で連覇を狙います。また、充電においても、CHAdeMO 急速充電器を持ち込んで安全かつスピーディーに充電を行い、日本発の技術を世界へ発信して行きます。

本年もまた、レースへの挑戦と共に、地球環境の保全と電気自動車の普及に関わる様々な活動をおこなって参ります。ぜひ当プロジェクトの活動にご支援・ご協力をお願いいたします。



【レース車両】



2014 モンスタースポーツ E-RUNNER パイクスピーク・スペシャル

メーカー		タジマモーターコーポレーション
ボディ	シャシー	アルミニウム スペースフレーム
	パネル	カーボンファイバーコンポジット
モーター		MONSTER SPORT 液冷式モーター 2 基搭載
バッテリー		三菱重工 MLiX リチウムイオン
コントロール		SIM-Drive
ドライブトレイン	タイプ	4WD
	デファレンシャル	フロント/リヤ: ハイドロリックコントロール
	ドライブシャフト	NTN 等速ジョイント
サスペンション	タイプ	フロント/リヤ: ダブルウィッシュボーン
ブレーキ	ディスク/キャリパー	フロント: φ 355mm/4 pot リヤ: φ 300mm/4 pot
	パッド	フロント/リヤ: Winmax
タイヤ&ホイール	タイヤ	フロント/リヤ: 340/710-18 Giti Compete GTR1
	ホイール	フロント/リヤ: 18x13J TWS MONSTER SPECIAL Mg
ディメンション		全長 5500 x 全幅 1950 x 全高 1300 mm *前後ウイング含む
	ホイールベース	2700mm



## 【ドライバー】



**田嶋 伸博**  
(たじま のぶひろ)

1950年6月28日生  
石川県出身／東京都在住

株式会社タジマモーターコーポレーション  
代表取締役会長  
株式会社アイアールディー 代表取締役会長  
株式会社 SIM-Drive 代表取締役社長  
株式会社 A1 コーポレーション 代表取締役会長  
電気自動車普及協議会(APEV) 代表幹事  
磐田新産業創出協議会 理事  
JEVRA 日本電気自動車レース協会 理事  
JAF 公認 チームモンスター 会長  
東京大学 非常勤講師

### 田嶋 伸博 ヒルクライム戦績

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム  
(アメリカ コロラド州)

- 1988年 ショールームストック Div. クラス 3位---
- 1989年 アンリミテッド Div. DNF ---
- 1990年 オープンラリー Div. DNS ---
- 1991年 PP オープン Div. 3位 12分 34秒 51
- 1992年 アンリミテッド Div. クラス優勝 12分 51秒 63
- 1993年 アンリミテッド Div. クラス優勝/総合 2位 10分 44秒 22
- 1994年 アンリミテッド Div. クラス2位/総合 5位 10分 51秒 15
- 1995年 アンリミテッド Div. 総合優勝 7分 53秒 00  
※天候不順のためコース短縮  
日本人初優勝
- 1996年 アンリミテッド Div. クラス 2位/総合 2位 10分 21秒 88
- 1997年 アンリミテッド Div. DNF ---
- 1998年 アンリミテッド Div. クラス 2位/総合 2位 10分 32秒 57
- 1999年 アンリミテッド Div. クラス 2位/総合 2位 10分 37秒 35
- 2000年 PP オープン Div. DNF ---
- 2001年 アンリミテッド Div. DNF ---
- 2006年 アンリミテッド Div. 総合優勝 7分 38秒  
※天候不順のためコース短縮
- 2007年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分 01秒 408  
**世界新記録樹立**
- 2008年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分 18秒 250
- 2009年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分 15秒 368
- 2010年 アンリミテッド Div. 総合優勝 10分 11秒 490
- 2011年 アンリミテッド Div. 総合優勝 9分 51秒 278  
**世界新記録樹立**
- 2012年 エレクトリック Div. 予選:クラス 1位 / 決勝:リタイヤ
- 2013年 エレクトリック Div. EV クラス優勝 9分 46秒 530  
**EV クラスワールドレコード樹立**



## 【パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会】

### 【実行委員会構成団体】

電気自動車普及協議会

株式会社タジマモーターコーポレーション

### 【実行委員長】

**総監督:** 福武 総一郎 (電気自動車普及協議会 会長)

～株式会社ベネッセホールディングス 取締役会長～

### 【実行委員】

**応援団長:** 鈴木 泰信 (NTN 株式会社代表取締役会長)

**ドライバー:** 田嶋 伸博 (電気自動車普及協議会 代表幹事)

～株式会社タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長～

草加 浩平 (電気自動車普及協議会 幹事)

～東京大学大学院工学系研究科 特任教授～

藤原 洋 (電気自動車普及協議会 幹事)

～株式会社ナノオプトニクス・エナジー 代表取締役～

鈴木 高宏 (電気自動車普及協議会 アドバイザー)

～長崎県産業労働部政策監 EV&ITS 推進担当～

### 【事務局】

**事務局長** 石倉智之 (株式会社タジマモーターコーポレーション)

田中郁子 (電気自動車普及協議会)



## 【出場競技】

大会名: 第92回パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム

開催地: アメリカ・コロラド州・コロラドスプリングス

開催日: 開催日: 2014年6月23日～29日

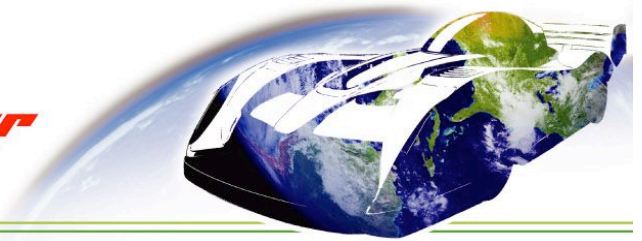
### レーススケジュール

6月23日(月)	参加者受付/車検
6月24日(火)	公式練習
6月25日(水)	練習/予選 1日目
6月26日(木)	練習/予選 2日目
6月27日(金)	練習/予選 3日目/ファンフェスト
6月28日(土)	セットアップ日
6月29日(日)	決勝

出場クラス: エレクトリック モディファイド ディビジョン(電気自動車 改造クラス)

出場車両 : E-RUNNER パイクスピーク スペシャル 2014モデル

ドライバー: 田嶋 伸博



## 【出場競技概要】

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムとは何か  
なぜこの競技に参戦するのか

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムは、アメリカ・コロラド州、ロッキー山脈の一部を成すパイク・ナショナルフォレスト(国有林)の雄大な自然の中で行われる自動車競技です。非常にシンボリックなイベントとして、世界でも有数のモータースポーツイベントとして多くの注目を集める、その理由は、長年に渡る歴史とレースが行われるロケーションにあります。

初開催は1916年(大正5年)、以後、戦争による中断などはありませんながらも継続的にアメリカの独立記念日に開催(※7月4日、近年は前週の6月末開催)され、2014年が92回目を数えます。単一シリーズとしてはインディ500等に次いで世界で五指に入る歴史と伝統を誇ります。

スタート地点は標高2862メートル、ここから富士山よりもはるかに高い4301メートルの山頂まで続く約20キロ山岳道路を一気に駆け抜けタイムを競います。

スタート地点の周囲は森に囲まれ多くの野生動物の姿を見ることができます。そこから7~8kmは森林地帯の中で緩やかに標高を上げて行きます。やがて道路は、急峻な山肌に張り付いたつづら折れの道になり、森林限界を超えて行くことで背の高い草木は姿を消し、高山に対応した植物だけが地面を覆うようになっていきます。そして、ゴール地点が近づく4000mを越える地点では赤茶けた岩だけが存在する世界へと変わって行きます、それは、自然破壊が進んだ世界を見せている様でもあり、わずか20kmのコースに凝縮された環境の変化は見る物に何かを訴えかけているようです。

このような、世界で唯一と言える歴史的背景と特異なロケーションがパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムに挑戦すること、そして勝利を求めることの価値を高めているのです。





**monster  
SPORT**



## 【チーム公式 WEB サイト、画像等】

### ■チーム公式 WEB サイト

URL : <http://www.apev.jp/teamapev/>

## 【本リリースに関するお問い合わせ先】

### ■パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会

石倉 智之(株式会社タジマモーターコーポレーション) E-mail : [pr@tajima-motor.com](mailto:pr@tajima-motor.com) TEL: 0538-66-0020

田中 郁子(電気自動車普及協議会) E-mail : [tanaka@apev.jp](mailto:tanaka@apev.jp)

